

AM-S2410
セレクト付デジタルオーディオモニタ
製品仕様書

本仕様書は、性能改善等の理由により、予告無く
変更する場合があります。

第 1 版 Rev 0.1

2008.12.17

株式会社ネオリンク
東京都渋谷区幡ヶ谷 2-7-2
幡ヶ谷ニューセンタービル 4 階
電話 03-5352-1181

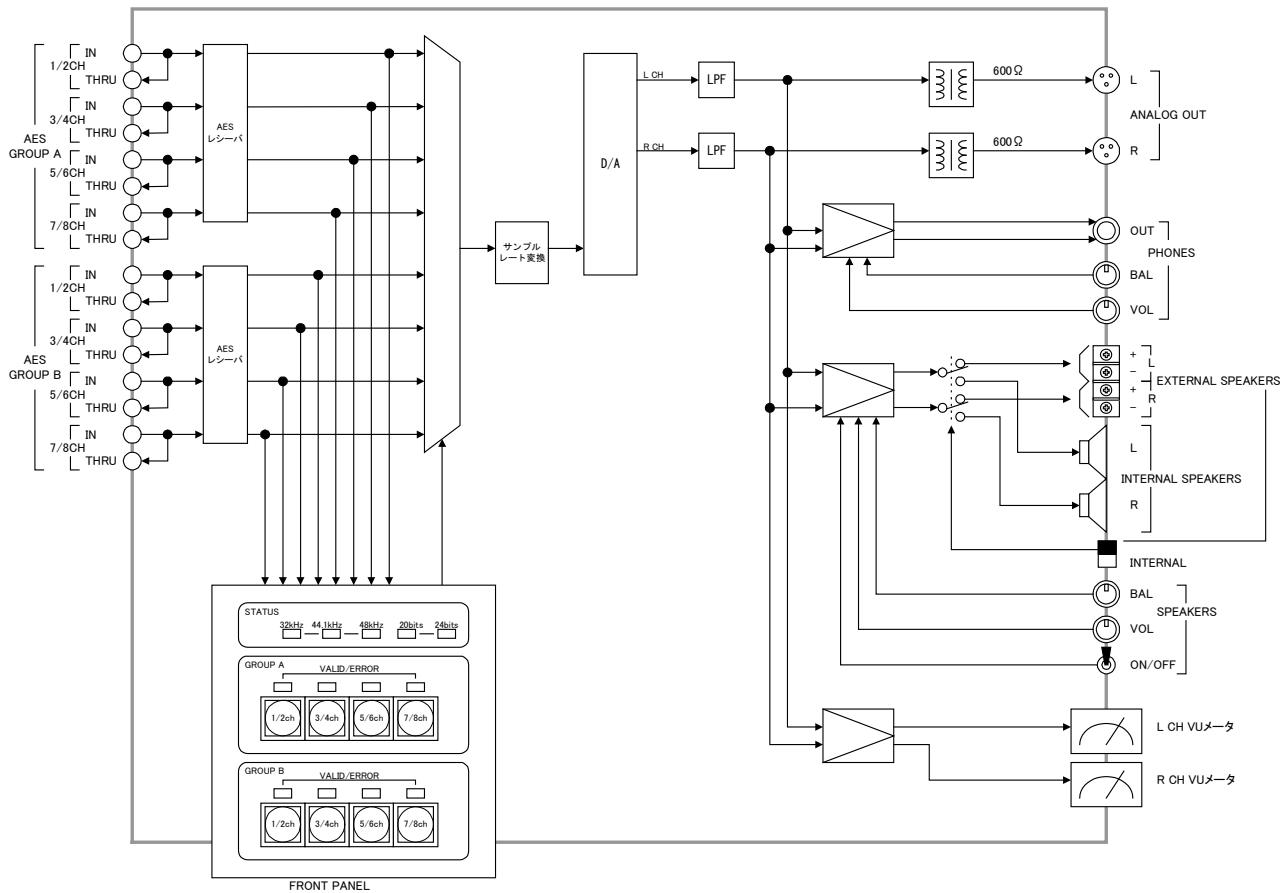
更新履歴

日付	版数	Rev	更新履歴	担当	備考
2008.12.17	1 版	01	初版作成	千田	

【INDEX】

1. ブロック図.....	1
2. 仕様	2
3. 操作・機能の説明.....	4
4. 外観図.....	5

1. ブロック図



2. 仕様

デジタルオーディオ 入力	<ul style="list-style-type: none"> グループ A : BNC 4 系統 (8ch) スルー出力付 グループ B : BNC 4 系統 (8ch) スルー出力付 適用規格 : AES-3id, EIAJ-CP1201 コネクタ : BNC インピーダンス : 75Ω (終端時) 1kΩ 以上 (開放時) スルー出力 (“THRU”) にコネクタを挿入すると開放 対応サンプル周波数 : 32kHz/44.1kHz/48kHz
表示部	<ul style="list-style-type: none"> 80mm 幅 VU メータ (ヤマキ電気株式会社製 YVU-80) L/R の 2 個 基準レベル : -18dBFS/-20dBFS (内部スイッチにて切換え) ご発注の際に、ご指定願います。
系統選択	<ul style="list-style-type: none"> グループ A 用系統選択スイッチ 4 個 グループ B 用系統選択スイッチ 4 個 計 8 個により、1 系統のみ選択
アナログライン出力	<ul style="list-style-type: none"> L/R の 2 出力 コネクタ : XLR オス (1 番 GND 2 番 HOT 3 番 COLD) レベル/インピーダンス : +4±0.5dBu/バランス 600Ω レベルは固定 内部のジャンパの切換えにより、アンバランス (3 番 GND) にすることが可能
内蔵スピーカ	<ul style="list-style-type: none"> 出力レベル : L/R 各 10W (最大) 前面スイッチにて、ON-OFF 可能 前面にて、レベル・バランス調整可能
外部スピーカ出力	<ul style="list-style-type: none"> 出力レベル : L/R 各 15W (最大)/8Ω THD : 1%以下/1kHz (LPF : 30kHz) L/R 各 20W (最大)/4Ω THD : 2%以下/1kHz (LPF : 30kHz) コネクタ : 端子台 (M3.5 4P) “+”, “-” 共に駆動されているので、特に “-” を GND に接続しないように 注意願います。 背面スイッチにて、内蔵スピーカと切換えて使用
ヘッドフォン出力	<ul style="list-style-type: none"> 出力レベル : L/R 各 200mW (最大)/8Ω THD : 1%以下/1kHz (LPF : 30kHz) コネクタ : φ6.3 ステレオ標準ジャック 前面にて、レベル・バランス調整可能 (スピーカとは独立)
電源	<ul style="list-style-type: none"> 電源電圧 : AC85~264V 50/60Hz コネクタ : 3P AC インレット 消費電力 : 50VA (待機時) ~180VA (AC100V 入力 L/R 共 外部スピーカ 4Ω 接続での最大出力時)

外形寸法	<ul style="list-style-type: none">・ W : 430mm H : 88mm D : 270mm(突起物含まず)・ ラックマウント金具取付け時 W : 482.6mm
重量	<ul style="list-style-type: none">・ 5.9kg(電源コード及びラックマウント金具を含まず)
付属品	<ul style="list-style-type: none">・ 電源コード 2m 3P 1本・ ラックマウント金具 1式

3. 操作・機能の説明

- 入力されたデジタルオーディオのうち、1系統（チャンネルペア）のみを選択して、下記の処理を行います。
 - 1) VU メータ表示
 - 2) アナログライン出力
 - 3) 内蔵スピーカ、もしくは、外部スピーカへ出力
 - 4) ヘッドフォン出力
- 電源投入時は、グループ A の 1/2ch が選択されます。
- デジタルオーディオ入力各系統毎にデジタルオーディオの有無を検出し、入力が検出されない場合、もしくは、正常なデータでない場合は VALID/ERROR は点灯しません。
- デジタルオーディオ入力が検出された系統のみ、以下の条件にて VALID/ERROR が点灯します。
 - 【赤色点灯】
 - 1) デジタルオーディオ入力のオーディオフレームパリティエラー検出
 - 2) デジタルオーディオ入力のチャンネルステータス CRC エラー検出
 - 【緑色点灯】

上記、赤色点灯条件以外の、デジタルオーディオ入力が正常な場合
尚、選択されていない系統でも、常時オーディオデータの検出を行っているので、VALID/ERROR は点灯します。
- デジタルオーディオ入力の有無に関わらず、選択スイッチでの切り替えは有効です。
- 選択されたデジタルオーディオ入力のチャンネルステータスから、以下の情報を検出し、ステータスを点灯させます。
 - 1) オーディオサンプル周波数
チャンネルステータスから取得したオーディオサンプル周波数情報によって、該当するステータスの 32kHz / 44.1kHz / 48kHz インジケータ（緑色）を点灯します。
 - 2) オーディオ有効ワード長
チャンネルステータスから取得した有効ワード長情報によって、該当するステータスの 20bits/24bits インジケータ（緑色）を点灯します。
- 内蔵スピーカと外部スピーカは切換えスイッチにより、どちらかが有効になります。
- スピーカ出力は前面のスイッチにて ON/OFF することが可能です。（内蔵スピーカ、外部スピーカ共通です。）
- スピーカ出力は、レベルとバランスが調整可能です。（内蔵スピーカ、外部スピーカ共通です。）
- ヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続してもスピーカ出力は OFF になりません。
- ヘッドフォン出力は、スピーカ出力とは独立して、レベルとバランスが調整可能です。

4. 外観図

